



Title	在日中国人の婚活とジェンダー規範：フェミニスト批判的談話分析を用いて
Author(s)	Li, Hengcong; 陳, 凱歎
Citation	グローバル人文学研究交流会要旨集. 2025, 1, p. 45-47
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/100482">https://doi.org/10.18910/100482</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 在日中国人の婚活とジェンダー規範

## —フェミニスト批判的談話分析を用いて—

LI HENGCONG (言語文化学・D2)・陳凱歎 (言語文化学・D1)

### 1. はじめに

2007年11月に家族社会学者の山田昌弘は、就職活動に準えて「婚活」という概念を提唱した(山田, 2010)。日本社会において「婚活」という概念は大きな反響を呼んだが、「婚活」を専門的に取り上げた研究の多くは、日本人のみを対象としている(村上, 2010)。近年、日本は外国人の受入れを積極的に行ってきており、2023年12月末までの在留外国人数は約341万人である<sup>1</sup>。これらの外国人も地域社会で生活し、日本人と同様に婚活に参加していると考えられる。しかし、日本国籍を持たない外国人住民が、日本においてどのように婚活を行うのか、どのような課題に直面しているのかに関する研究がまだ不十分である。そのような課題を踏まえ、本研究では在日外国人の婚活について考察する。ただし、異なる国籍・地域の外国人住民全体を論じることは難しい。出入国在留管理庁のデータによれば、令和5年末時点で在留外国人の中で最も多いのは中国国籍を持つ住民である<sup>1</sup>。そのため、本研究では在日中国人を研究対象とする。

### 2. 先行研究

在日外国人の婚活に焦点を当てる研究が少ないものの、斡旋業者を介して日本人との結婚に至る外国人に関する移民研究は少なくない。特に日本農村部の結婚難・嫁不足の問題を解決するためのお見合い国際結婚に関する先行研究が蓄積されている。賽漢(2007)は農村部に住む三人の「中国人花嫁」を対象とした事例研究を通じて、経済的要因、ジェンダー的要因、文化的要因によって、中国人妻たちが出身社会の周辺に位置付けられていたことを明らかにした。胡(2012)は、国際結婚が発生する原因のみを論じるのは不十分だと考え、業者婚による国際結婚後の生活状況について考察した結果、能動的な中国人妻の姿を見出した。

これらの先行研究では、ジェンダー的要因や周辺化<sup>2</sup>の概念、社会による抑圧や個人の反抗といった議論を通して、斡旋業者を介した日中國際結婚を経験した中国人女性にまつわる権力秩序の一端が明らかにされてきた。ところが、当事者の婚活経験は背景として触れられる程度にとどまっている。本研究は、日本における外国人住民の婚活実態の一端を解明することを目的とする。

### 3. リサーチクエスチョン

以上の問題意識を踏まえて、本研究は、以下のリサーチクエスチョンを設定する。

- ①婚活において在日中国人はどのような課題に直面するのか。
- ②婚活の過程でどのようなジェンダーイデオロギーが表出するのか。

### 4. 研究方法と研究対象

本研究は Lazar(2007)が提唱したフェミニスト批判的談話分析(feminist critical discourse analysis, 以下、FCDAと略称する)を援用する。FCDAは、ジェンダーによる社会的配置に加担する言語使用に内在する権力とイデオロギー的な構

<sup>1</sup> 出入国在留管理庁「令和5年末現在における在留外国人数について」

[https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13\\_00040.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00040.html) (最終閲覧日:2024-11-29)。

<sup>2</sup> 賽漢(2011: 74)は「社会のポリティクスのなかで、中心的地位から引き離されて周縁の低地位に貶められる状態」を「周辺化」と呼ぶ。

造を解明するために、批判的談話分析とフェミニズム研究との知見を統合したものである(Nartey, 2024)。本研究では、FCDAの理論的枠組みを基盤に、国際結婚に関する移民研究の「周辺化」という概念に焦点を当て、これを分析の手がかりとする。分析の手順を以下のように設定する。①取材内容をテキスト化し、その中に含まれる周辺化に関する内容を特定する。②談話分析の手法を用いて、潜在する権力関係を明らかにする。③フェミニズムの視点から、権力関係におけるジェンダー的要素について検討する。

本研究は日本で婚活を経験した在日中国人4名に対し、半構造化インタビューを実施した。調査対象者の属性は以下のように示す。

表1 調査対象者の属性

仮名	年齢	性別	職業	婚活ツール
A	30代	女性	IT会社派遣社員	婚活アプリ
B	20代	女性	IT会社正社員	合コンと婚活アプリ
C	20代	男性	銀行正社員	合コンと婚活アプリ
D	20代	女性	大学院生	合コン

## 5. 分析

データ分析の結果、日本での婚活において、外国人としての身分は暗黙のうちに重要な要素として注目されていた。「外国人という身分はあなたにどのような影響をもたらしたか」という質問に対して、Dは「我覺得大家可能不是搞婚活和我说话、大家可能是好奇想和我说话（私の感じでは、みんなは婚活を目的に私と話しているわけではなく、ただ好奇心で話しかけているのかもしれません）」と語った。Dの語りからすると、Dは「好奇(好奇心)」を持たれて話しかけられている。他の合コン参加者がDに「好奇心」を持つ理由は、外国人という文化的属性によるものと考えられる。つまり、Dはこの合コンの場では文化的な側面から「よそ者」として見られたことが読み取れる。さらに、「婚活を目的に私と話しているわけではなく」という語りから、Dは婚活の場において婚活の対象として認識されず、周辺化されたと考えられる。Dの語りから、婚活の場では多くの場合、文化的同質性が期待されるという規範が垣間見える。

また、Bによれば、「比如说一些非常优质的男生，他好像不是很愿意挑中国女生（例えば、非常にクオリティの高い（優れた）男性たちは、中国人女性を選び取ることにはあまり積極的ではないように見えます）」。「挑（選び取る）」という言葉遣いは、優れた男性が選ぶ権力を持つ主体、女性が受動的に選ばれる客体だと暗示している。また、「优质（クオリティの高い）」において、男性は質の高い商品としてメタファー的に語られた。そして、Bは「クオリティの高い男性」をさらに解釈した：「比如说他可能，是一个小社长啊，或者是嗯，一个医生，他这种他是完全不考虑外国女性的（例えば、彼は小さな社長だったり、あるいは医者だったりするかもしれません、そういう人は完全に外国人女性を対象にしないです）」。すなわち、「クオリティの高い男性」は、経済力・社会地位の高い男性を指している。婚活において男性に対する伝統的ジェンダー規範、すなわち経済力と社会的権力への重視が強調されていることがここから読み取れる。このような男性に関する社会的期待は、婚活の場において男性の商品化と絡み合っていると考えられる。一方で、男性の経済力・社会的地位の商品化は、逆に男性を社会的周辺化されにくく位置に置かれると考えられる。

このように、婚活において外国人（中国人）女性が周辺化されているものの、Aはこのように周辺化される状況に対して、能動的に対応している様子が見られる。Aは、以下のように語った。

「我感觉啊，要看人…（中略）…反而像我现在的老公他可能因为他自己在中国留学过，所以他自己是不抗拒国籍的，所以反而对他来说我甚至，是中国人这个身份对他来说反而可能是一个好的地方（私の感じでは、人によると思いますが…（中略）…かえって、今の夫のように彼自身が中国に留学した経験があるため、彼自身は国籍に対して抵抗感がない。だから、かえって、彼にとって私は中国人であることが、かえって良い点と感じられるかもしれない）」。

Aは「要看人（人によると思いますが）」と述べ、国籍による周辺化という現象は存在していることを認めるものの、必ずしもそうではないという自ら能動的に解釈した。その後の語りにも、「反而（かえって）」という単語が何度も繰り返されていることが見て取れる。「反而（かえって）」という言葉は、一般的な状況とは逆であるという意味を持つ。言い換え

れば、婚活において、中国人（外国人）であることが良い点ではないという考え方が主流であり、「この考え方は主流である」ことを A は内面化したと考えられる。同時に、A は自分の語りにおいて、「反而（かえって）」という逆転を表す単語を用いて、「かえって良い点」と語り、自分の国籍の価値を肯定した。A は国籍の権力秩序において周辺化された状況に対して、能動的に挑戦したと考えられる。

ここまで、A, B, D という 3 人の女性の語りから、外国人（中国人）という身分によって周辺化されやすいと示唆される。しかしながら、男性の C は異なる視点を示した。

「其实我没有感觉到有什么麻烦，但是好处的话...能讲一些她们不知道的，没听说过的故...对她们来讲会比较新鲜，会容易对我感兴趣吧（実際のところ、特に困ったことは感じていません。ただ、良い点を挙げるとすれば...彼女たちが知らないような話や、聞いたことのないエピソードを話せることでどうか...彼女たちにとっては新鮮に感じられるようで、私に興味を持ちやすいのかなと思います）」。

前述した D が婚活の場で「好奇心」によって話しかけられていることと対照的に、C は異文化のエピソードを能動的に提供し、婚活に溶け込むためのテクニックとして活用したことを語った。婚活の場で受動的か能動的かという立場に関しては、性格やパーソナリティによる差があるかもしれないことは否定できないものの、知識を積極的にアピールするという社会的期待において、ジェンダー差があるのも否定できない。女性が婚活の場で同様に知識を活用することがどのように評価されるのか、またその機会が男性と同等に存在しているのかは疑問が残る。

## 6. おわりに

本研究では、在日中国人は日本において婚活する際に、国籍とジェンダー規範による周辺化に直面していることが明らかになった。しかしながら、そのような権力秩序に対して在日中国人の女性たちは、ただ受動的に受け入れるのではなく、能動的に挑戦する姿も見られる。本研究は、在日中国人の婚活の一側面を可視化することによって、多文化共生の日本社会の実現に貢献することを目指す。

### 参考文献

- 胡源原 (2012). 「日本の地方社会における中日国際結婚: 兵庫県 T 市を事例として」『社会学雑誌』29, 167-188.
- Lazar, Michelle M. (2007). Feminist Critical Discourse Analysis: Articulating a Feminist Discourse Praxis. *Critical Discourse Studies*, 4(2), pp.141-164.
- 村上あかね (2010). 「若者の交際と結婚活動の実態—全国調査からの分析」『「婚活」現象の社会学 日本の配偶者選択のいま』山田昌弘編著、東洋経済新報社。
- Nartey, M. (2024). Women's voice, agency and resistance in Nigerian blogs: A feminist critical discourse analysis. *Journal of Gender Studies*, 33(4), pp.418-430.
- 賽漢卓娜 (2007). 「中国人女性の『周辺化』と結婚移住—送り出し側のプッシュ要因分析を通して」『家族社会学研究』19(2), 71-83.
- 賽漢卓娜 (2011). 『国際移動時代の国際結婚: 日本の農村に嫁いだ中国人女性』勁草書房。
- 山田昌弘 (2010). 「『婚活』現象の広がりの中で」『「婚活」現象の社会学 日本の配偶者選択のいま』山田昌弘編著、東洋経済新報社。